

学校評価シート 2023年度 大和すみれ幼稚園

I 自己評価

1. 本園の教育目標

建学の精神

『たのしく、あかるく、あたたかく、子どもにとっての第二の家庭になる幼稚園』

教育目標

1. よい友だち関係がつけれる子
2. 気持ちの豊かで明朗な子
3. 創造性に富む、個性豊かな子

教育目標を達成するために

1. ひとりひとりを大切に、心身のバランスのとれた成長を促す保育を行っています。
2. 集団での保育を通してよい友だち関係がつけれる子どもに育つお手伝いをします。
3. 四季折々の自然の移り変わりに眼を向けて感性を養うお手伝いをします。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (ア) 「主体的・対話的で深い学び」について、教員が実践する中で、共通理解を深める。
- (イ) 子どもの興味・関心を育てる環境づくりとはどのようなことか考えていく。
- (ウ) 要支援児や援助が必要な子どもに対しての対応を考えていく。
- (エ) 業務の見直しや計画を改善する

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果 (※)	結果の理由
(1) 「主体的・対話的で深い学び」について、教員が実践する中で、共通理解を深める	B	園内研修や日々の取り組みを伝え合う中で、少しずつ互いの保育観を共有したり理解したりすることができるようになってきた。
(2) 子どもの興味・関心を育てる環境づくりとはどのようなことか考えていく	A	一人一人が意識的に保育を計画し、保育を工夫して行ってきた。まだ発展途上だと感じるが、取り組みは深まってきている。
(3) 要支援児や援助が必要な子どもに対しての対応を考えていく	B	支援に対する理解が深まっており、ひとりひとりのスキルも向上している。
(4) 業務の見直しや計画を改善する	C	業務の見直し、改善は進んでいるが、以前業務量が多く、人手不足が否めない。
(5) 保護者に対し、園の活動を様々な手段で伝え、理解を得ようとしている	A	ドキュメンテーションをはじめ、保育の内容を伝えようと工夫してきていることが、保護者アンケートに反映されている。

○結果 (※) について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
子どもの知的好奇心を高める活動や、明日が楽しみになるワクワクする活動に取り組む	「主体的・対話的で深い学び」についての理解は進んでいるため、教員も楽しみながら取り組むことができるように、コーナーづくりや素材を研究する
子どもの興味・関心を育てる環境づくりとはどのようなことか考えていく	環境構成についての工夫や取り組んでみての結果・八件を共有していく
要支援児や援助が必要な子どもに対しての対応を考えていく	個別の支援計画作成、書式の統一など、全体での把握を進めていく
職員同士のコミュニケーションの機会を増やす	保育における気づきや発見を共有し、子どもの育ちを喜び合う風土づくりを意識するために、お互いに認め合う機会をつくる

II 学校関係者評価

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

評価目標の設定は適切であった。

2. 評価結果の内容は適切であったか

子どもたちの主体的な保育を、進め方や取り入れ方などを模索しながら取り組む中、また、コロナ禍で様々な変化があったことから、職員の自己評価が厳しくなっているのではないかと。難しかったことだけでなく、良かったことを、もっと評価に繋げてほしいのではないかと。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

前年の振り返りを踏まえ、保育者が考察しているので、適切である。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

現在、課題となっているものを深めるために、研修や保育者同士でも共通理解や方法を探って、少しずつ保育に取り入れたり試行錯誤をして取り組んでいる。

III 財務状況評価

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。